

現代においても、さまざまな形でいろいろなものを奪い取るということが多くあるように思われます。利益や領土の奪い合い、情報や事実の隠蔽または操作、威圧を以て他者・他国に対して自らが優位であると見せつけようとする態度などであるようです。結果として、どうなっているでしょうか。例えば、教育を受ける権利や、人間同士の自由な交流を奪われて、正当な利益や正しい知識を得られない、また脅しに屈するということもあるでしょう。反対に、奪い取った側はどうでしょうか。果たして本当のよろこびを実感しているでしょうか。もつと欲しいという新たな悩みに苦しんでいるのではないのでしょうか。

仏教で、三つの布施が説かれています。一つに財施、物を相手に差し出すことです。募金に協力することや、チャリティーに物を差し出すことなどが有るでしょう。

二つに法施、真実の教えを説くことです。仏教の伝道の手伝いをするのですが、もつと幅広く、歴史の事実を伝えること、現実社会の事実を教え合うことなども大切なことでしょう。

三つに無畏施、難しい文字が使われていますが、無畏施の畏はおそれのことです。そのおそれが無いということですから、人々におそれからの解放を与えるという事です。言い換えれば、安心の施しと言っているでしょう。例えば、あなたに対して、あなたの国に対して、嫌な感情を抱いていません、危害を加えることなど有りません、と伝えることもそうでしょう。そのために、あたたかく挨拶することも欠かせない大切なことです。

言うまでもなく、布施は功德です。布施をすること、自分自身がその功德を受けるのです。反対に、布施から遠ざかることにより、自らが迷いの中に沈んでいくのです。ある寺の掲示伝道に「奪い合えば貧しく、分け合えば豊かに」とありました。よくよく噛みしめなければならぬと思います。

